



2024年12月期 第2四半期 (中間期) 決算短信〔日本基準〕 (連結)

2024年7月31日

上場会社名 株式会社電通総研

上場取引所 東

コード番号 4812 URL <https://www.dentsusoken.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 浩久

問合せ先責任者 (役職名) エグゼクティブオフィス (氏名) 靱木 直人 TEL 03-6713-6160

半期報告書提出予定日 2024年8月2日 配当支払開始予定日 2024年9月2日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2024年1月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	74,235	6.3	10,360	△2.7	10,262	△4.9	7,248	△2.7
2023年12月期中間期	69,849	13.7	10,652	10.6	10,785	11.8	7,446	6.0

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 7,604百万円 (△0.3%) 2023年12月期中間期 7,625百万円 (1.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	111.38	—
2023年12月期中間期	114.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	143,597	86,944	60.5
2023年12月期	133,333	82,971	62.2

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 86,944百万円 2023年12月期 82,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	44.00	—	56.00	100.00
2024年12月期	—	54.00	—	—	—
2024年12月期 (予想)	—	—	—	54.00	108.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想 (2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	8.7	22,500	7.0	22,500	5.9	15,700	7.1	241.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社ミツエーリンクス、除外 1社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	65,182,480株	2023年12月期	65,182,480株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	107,821株	2023年12月期	112,297株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	65,072,442株	2023年12月期中間期	65,069,066株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	7
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	8
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

単位：百万円

	2023年12月期 中間連結会計期間	2024年12月期 中間連結会計期間	増減	前年同期比
売上高	69,849	74,235	+4,386	106.3%
営業利益	10,652	10,360	△292	97.3%
営業利益率	15.3%	14.0%	△1.3p	—
経常利益	10,785	10,262	△523	95.1%
親会社株主に帰属する 中間純利益	7,446	7,248	△198	97.3%

当中間連結会計期間(2024年1月1日～2024年6月30日)におけるわが国経済は、世界的な金融引締めや物価上昇等に伴う下押しリスクがあったものの、雇用・所得環境の改善に伴い、緩やかな回復基調が続きました。当社グループを取り巻く事業環境についても、企業のデジタル投資意欲は強く、堅調に推移しました。

かかる状況の下、当社は、2024年1月1日に「株式会社電通国際情報サービス」から「株式会社電通総研」へ商号変更を行うとともに、事業機能の拡充を推進し、システムインテグレーション、コンサルティング、シンクタンクを兼ね備えた「社会進化実装」企業として新たなスタートを切りました。

当連結会計年度は、2022年にスタートした中期経営計画「X(Cross) Innovation 2024」の最終年度です。当社グループは、4つの活動方針「事業領域の拡張」「新しい能力の獲得」「収益モデルの革新」「経営基盤の刷新」のもと、新たな企業ブランドと事業機能を最大限に生かし、当期の業績予想および中期経営計画の定量目標の達成を同時に目指してまいります。また、長期経営ビジョン「Vision 2030」の実現に向けては、2025年からの3か年が極めて重要な期間になると考えており、これまでの延長線ではない成長を遂げるべく、次期中期経営計画の策定にも全社一丸となって取り組んでまいります。

当中間連結会計期間の業績は、売上高74,235百万円(前年同期比106.3%)、営業利益10,360百万円(同97.3%)、経常利益10,262百万円(同95.1%)、親会社株主に帰属する中間純利益7,248百万円(同97.3%)となりました。

売上高については、金融ソリューションセグメントおよび製造ソリューションセグメントを中心に増収となりました。一方、利益については、増収による増益効果はあったものの、人員増および従業員の基本給引き上げによる人件費増、ならびに技術者の非有償稼働工数の増加等から、販売費及び一般管理費が増加し、すべての段階利益で減益となりました。

報告セグメント別の売上高、営業利益および営業の状況は、以下のとおりです。

■報告セグメント別売上高および営業利益

単位：百万円

報告セグメント	2023年12月期 中間連結会計期間			2024年12月期 中間連結会計期間			増減額	
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益
金融ソリューション	14,721	1,416	9.6%	16,109	1,840	11.4%	+1,388	+424
ビジネスソリューション	11,653	3,152	27.0%	11,717	2,781	23.7%	+64	△371
製造ソリューション	19,795	2,171	11.0%	22,694	2,727	12.0%	+2,899	+556
コミュニケーションIT	23,678	3,910	16.5%	23,713	3,010	12.7%	+35	△900
合計	69,849	10,652	15.3%	74,235	10,360	14.0%	+4,386	△292

■報告セグメント別営業の状況

金融ソリューション

金融機関をはじめ企業における各種金融業務を支援するITソリューションの提供を主たる事業としています。

当中間連結会計期間は、会計領域のソフトウェア商品の販売・導入が銀行業向けに拡大したことに加え、リース・ファイナンス業務管理パッケージ「Lamp」がリース業向けに増加したことにより、増収増益となりました。

ビジネスソリューション

会計・人事を中心に経営管理業務を対象とするITソリューションの提供を主たる事業としています。

当中間連結会計期間は、統合人事ソリューション「POSITIVE」の販売・導入が保険業を中心に拡大したものの、会計領域において複数の案件がピークアウトし同領域のソリューションの販売・導入が低調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。利益については、戦略的な人員確保に伴い人件費が大幅に増加したこと等により、減益となりました。

製造ソリューション

製造業の製品開発/製造/販売/保守にわたる製品ライフサイクル全般を対象とするITソリューションの提供を主たる事業としています。

当中間連結会計期間は、システムグランドデザインおよびエンジニアリングを支援するコンサルティングや、PLMソリューション「Teamcenter」の販売・導入等が電気・精密機器業向けを中心に拡大したことにより、増収増益となりました。

コミュニケーションIT

マーケティングから基幹業務領域まで企業のバリューチェーンやビジネスプロセスの最適化を支援するITソリューションの提供を主たる事業としています。

当中間連結会計期間は、SAPソリューションの導入が機械業向けを中心に拡大したものの、電通グループとの協業ビジネスが低調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。利益については、人件費の増加や前連結会計年度に不採算となった案件が低収益で継続した影響等により、減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して10,264百万円増加し、143,597百万円となりました。流動資産は、株式会社ミツエーリンクスの株式取得に伴う支出があったものの、契約負債の増加や売上債権の回収が進んだことにより資金（現金及び預金、預け金）が増加したほか、顧客向けサービスのためのサブスクリプション契約・保守契約に係る前渡金が増加したことにより、前連結会計年度末と比較して1,237百万円増加し、116,050百万円となりました。固定資産は、主に株式会社ミツエーリンクスの株式取得に伴うのれんの増加により、前連結会計年度末と比較して9,027百万円増加し、27,547百万円となりました。

② 負債

当中間連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末と比較して6,291百万円増加し、56,653百万円となりました。流動負債は、保守・サブスクリプション型サービス提供に伴う契約負債の増加を主因として、6,033百万円増加し、53,655百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末と比較して259百万円増加し、2,998百万円となりました。

③ 純資産

当中間連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当があったものの、主に当社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末と比較して3,973百万円増加し、86,944百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2024年2月14日に発表した通期連結業績予想を7月24日付で下記のとおり修正しました。売上高については期初の見通しに変化はないものの、株式会社ミツエーリンクスを子会社化したことによる効果を踏まえ修正しています。利益については、当中間連結会計期間は厳しく推移したものの、第2四半期連結会計期間の受注高が16.3%増加し、下期は改善が見込まれることから各段階利益の予想を据え置きました。同社の子会社化による利益への影響は、のれん償却費が生じるため、軽微となる見通しです。

2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2024年2月14日 発表予想(A)	153,000	22,500	22,500	15,700	241.28
2024年7月24日 修正予想(B)	155,000	22,500	22,500	15,700	241.28
増減額 (B-A)	+2,000	—	—	—	—
増減率	+1.3%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2023年12月期)	142,608	21,028	21,244	14,663	225.35

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,626	6,168
受取手形、売掛金及び契約資産	35,437	28,356
商品及び製品	65	65
原材料及び貯蔵品	12	17
前渡金	19,611	25,166
預け金	52,406	54,305
その他	1,657	1,975
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	114,813	116,050
固定資産		
有形固定資産	3,386	3,760
無形固定資産		
のれん	143	7,990
その他	5,615	5,732
無形固定資産合計	5,758	13,723
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,376	10,064
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	9,375	10,063
固定資産合計	18,520	27,547
資産合計	133,333	143,597
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,358	15,915
未払法人税等	3,462	3,308
契約負債	15,872	20,943
受注損失引当金	180	95
資産除去債務	—	19
株式給付引当金	18	—
その他	13,730	13,374
流動負債合計	47,622	53,655
固定負債		
退職給付に係る負債	71	86
資産除去債務	849	952
株式給付引当金	147	212
その他	1,671	1,746
固定負債合計	2,739	2,998
負債合計	50,362	56,653

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,270	15,270
利益剰余金	58,909	62,508
自己株式	△406	△389
株主資本合計	81,953	85,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	285	289
為替換算調整勘定	732	1,085
その他の包括利益累計額合計	1,018	1,374
純資産合計	82,971	86,944
負債純資産合計	133,333	143,597

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	69,849	74,235
売上原価	44,286	47,159
売上総利益	25,562	27,076
販売費及び一般管理費	14,910	16,715
営業利益	10,652	10,360
営業外収益		
受取利息及び配当金	26	55
為替差益	42	—
保険配当金	47	51
助成金収入	24	10
投資事業組合運用益	3	—
雑収入	7	12
営業外収益合計	151	130
営業外費用		
支払利息	13	18
持分法による投資損失	0	83
投資事業組合運用損	—	18
為替差損	—	102
雑損失	4	6
営業外費用合計	18	228
経常利益	10,785	10,262
特別利益		
投資有価証券売却益	135	320
特別利益合計	135	320
特別損失		
減損損失	74	25
投資有価証券評価損	302	—
特別損失合計	377	25
税金等調整前中間純利益	10,544	10,557
法人税、住民税及び事業税	2,681	2,922
法人税等調整額	414	386
法人税等合計	3,096	3,309
中間純利益	7,447	7,248
非支配株主に帰属する中間純利益	1	—
親会社株主に帰属する中間純利益	7,446	7,248

(中間連結包括利益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	7,447	7,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	3
為替換算調整勘定	183	353
その他の包括利益合計	177	356
中間包括利益	7,625	7,604
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7,624	7,604
非支配株主に係る中間包括利益	1	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	14,721	11,653	19,795	23,678	69,849
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,721	11,653	19,795	23,678	69,849
セグメント利益	1,416	3,152	2,171	3,910	10,652

(注) セグメント利益の合計額と中間連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	16,109	11,717	22,694	23,713	74,235
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,109	11,717	22,694	23,713	74,235
セグメント利益	1,840	2,781	2,727	3,010	10,360

(注) セグメント利益の合計額と中間連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、株式会社ミツエーリンクスの子会社化したことに伴い、コミュニケーションITセグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、7,892百万円であります。

なお、当該事象によるのれんの金額は、当中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。